

第3回企画専門委員会での主な意見

(H26.1.28開催)

(男女共同参画)

- ・男女共同参画について、若い人材の育成を行いながら、がんばって取り組んでもらいたい。

(教育)

- ・教育分野において、外国語教育の推進についてもっと強く記載してもいいのではないか。

(国際交流)

- ・地元の間人が外から鶴岡を見つめ直すことで、鶴岡の良さを再発見することができると思うので、その視点を国際交流の部分に入れられないか。

(多文化共生・観光)

- ・日本全体の話だが、街中の看板や案内など外国語の表示が不足しているため、ハード整備として何が必要かを検討する必要がある。

(水産業)

- ・豊かな海づくり大会の誘致についても記載したほうがいいのではないか。

(食文化)

- ・将来、ユネスコ登録が実現した暁には、鶴岡の食文化を内外に積極的に発信できるように、ユネスコ登録を今後の実施計画なりに反映させていってもらいたい。

(高速交通基盤)

- ・高速交通基盤の整備の部分において、庄内空港の滑走路の延長についても記述したほうがいいのではないか。

(公園整備)

- ・「鶴岡公園の桜など…」という記載になっているが、重要性等を鑑み「など」を削って鶴岡公園の桜だけでひとつに整理したほうがいいのではないか。

(ルネサンス宣言関連)

- ・「観光文化都市」主な施策⑦中に4章4節にある「鶴岡ツーリズム」という文言を加えてはどうか。

（計画の推進）

- ・鶴岡まちづくり塾で学び、考えた後の次のステップとして、具体的なアクションを起こそうとしている若い世代の人たちを支援する仕組みづくりに取り組んで欲しい。
- ・「Ⅲ計画の推進のために」の部分をもう少し筋道が見えるように具体的に記述すると、市民等の各主体がどのように協力できるのか理解しやすくなるのではないか。
- ・「Ⅲ計画の推進のために」の部分は他のページと記載のトーンが違うので、どうしたら、どうなるといった部分を入れるなど再検討が必要ではないか。
- ・この計画の実行性と市民認知度を高め、市民の総合力を発揮するためにも、その基盤となる市役所職員は、たとえばこの計画書を常に持ち歩くなどし、自分の担当業務以外の事についても、知っておくべきである。
- ・「Ⅲ計画の推進のために」の提言要望の部分は、もっと内容を補強すべきでないか。
- ・「Ⅲ計画の推進のために」の中に、基本計画に基づき、3年ごとの実施計画を策定し、毎年ローリング方式で見直すことも含めてはどうか。

（総合計画全般）

- ・見やすく理解しやすい要約版の計画書を作成し、市民に周知して欲しい。
- ・少子化対策や雇用対策など、複数の章・節に関連する事項について、別々に整理されていることから関連性が見えにくい。
- ・記載内容が細かすぎるため、具体的に記載が無いものについては、新たな事業の必要性に迫られても取り組まないのではないかという不安を招いてしまうのではないか。
- ・地域を元気にするためには何と言っても産業振興・雇用が大事なので。文化都市ばかりを全面に出すのではなく、その部分の記述を強化すべきではないか。
- ・数値目標を入れたり、各分野、各主体の担う役割などがわかりやすい、読みやすい計画書にしてほしい。
- ・厳しい社会情勢や問題点ばかりを記載するのではなく、本市の優れた部分や芽を吹いている事柄についても、「本市を取り巻く状況について」の部分で触れた方がいいのではないか。
- ・文中に「他章他節」と記載されているが、全体を見なくとも済むように、関連する施策を再掲するか、またはどこに記載があるか明記するなど工夫が必要ではないか。
- ・キーワードを抽出して索引を付けるなど工夫してはどうか。
- ・実施計画においては、より目標を明確にして具体性を持った記載方法とすべき。
- ・本市の課題と成長戦略は記載あるが、目標がないのでぼやけている感じがあるので、スローガンのように夢を訴え、未来はこんな魅力ある街になるなど、今よりも幸せになるのだと市民感覚で感じられるような記載が必要ではないか。
- ・計画内容に関しては申し分ないので、たとえばデザイナーやメディアを使うなど、より訴えかける手段、聞いてもらえる、見てもらえるような計画書としていただきたい。

- ・施策が網羅的に記載されていることで、逆に記載されていない施策はやってもらえないのではないかという不安感があるので、実施計画においては随時見直しを行ってほしい。
- ・「1本市を取り巻く状況」に（5）として、「鶴岡のいいところ」を表現することで、「2鶴岡市の未来を創造する成長戦略」に繋がっていくのではないかと。
- ・文化会館の利用率や交流人口から定住につながった割合など可能な限り数値での見せ方を検討してほしい。
- ・「1本市を取り巻く状況」と「2鶴岡市の未来を創造する成長戦略」の間に、本市の状況を受けて、成長戦略を展開する理由になるような事柄、例えば「鶴岡には他に誇れる素晴らしい文化的な基盤があるから、ルネサンス宣言に基づくまちづくりを推進する」などといった部分を入れると、繋がりができ読みやすい構成になるのではないかと。
- ・「1本市を取り巻く状況」は、日本の地方都市に共通する内容が強いので、もう少し鶴岡に関する記載を増やしたうえで、成長戦略に繋げていく内容を補強していただくと読みやすくなる。
- ・ワンペーパーの両面位の量にブラッシュアップするような心づもりでダイジェスト版作成にあたってもらえると、発信すべき計画の本質が残るのではないかと。